

資源管理に必要な情報の提供事業

定置網漁獲統計調査

久野 正博・岡田 誠

目的

定置網に関する詳細な漁海況情報を蓄積することにより、資源管理を行っていくための基礎資料とする。

方法

三重県内の大型定置網漁場のうち、相差・志島・片田・和具・阿曾・贅浦・方座・錦・島勝・九鬼1号・九鬼2号・早田・梶賀・阿田和1号・阿田和2号の15漁場を対象に平成25(2013)定置年度(平成25(2013)年10月～平成26(2014)年9月)の魚種別漁獲量を調査した。

結果

詳細については平成25定置年度三重県ブリ定置漁獲統計で報告したので、以下は結果の概略を示す。

平成25(2013)定置年度の総漁獲量は5,510トンで前年度比1.02倍であった。魚種別ではサバが1,438トンで全魚種の26.1%を占めた。次いでブリ(6kg以上の銘柄)が1,058トン、ワラサ(2～6kgの銘柄)432トン、マアジ409トン、シイラ348トン、マルアジ259トン、スルメイカ139トン、イサキ132トン、イワシ類108トンの漁獲があった。漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、マイワシ(前年度比14.0倍)、イワシ類(同13.5倍)、ウスバハギ(同5.8倍)、マグロ類(同2.5倍)、マルアジ(同2.3倍)、ヒラマサ(同1.8倍)、サバ(同1.6倍)、イシダイ(同1.5倍)、イサキ(同1.3倍)、トビウオ(同1.2倍)、その他アジ類(同1.3倍)、ワラサ(2～6kgの銘柄)(同1.2倍)、ヒラソウダ(同1.2倍)であった。逆に減少した魚種は、マルソウダ(前年度比15%)、フグ類(同34%)、タチウオ(同37%)、メジナ(同38%)、ウルメイワシ(同38%)、カタクチイワシ(同46%)、アオリイカ(同48%)、イサキ(同62%)、カマス(同69%)、カンパチ(同70%)、ムツ(同75%)、ヒラメ(同77%)、スルメイカ(同78%)、サワラ(同79%)、シイラ(同81%)、イナダ(0.5～2kgの銘柄)(同91%)、スズキ(同91%)、ブリ(6kg以上の銘柄)(同95%)であった。

ブリ(6kg以上)の全漁獲尾数は147,463尾(前年度比1.01倍)で、尾数では好漁の前年をわずかに上回り、最近30年の中では3番目の漁獲尾数であった。漁場別の

表1. 全漁場魚種別漁獲量

平成25(2013)年10月～平成26(2014)年9月			
順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	サバ	1,438,384	26.105
2	ブリ	1,058,392	19.208
3	ワラサ	432,353	7.847
4	マアジ	408,987	7.423
5	シイラ	348,490	6.325
6	マルアジ	259,250	4.705
7	スルメイカ	139,105	2.525
8	イサキ	132,412	2.403
9	イワシ類	108,069	1.961
10	マイワシ	93,087	1.689
11	カタクチイワシ	83,810	1.521
12	カマス	82,419	1.496
13	イナダ	65,857	1.195
14	サワラ	59,904	1.087
15	ウスバハギ	53,081	0.963
16	マルソウダ	45,871	0.833
17	アオリイカ	45,475	0.825
18	マダイ	45,139	0.819
19	イシダイ	44,506	0.808
20	ヒラマサ	37,434	0.679
21	ヒラソウダ	33,847	0.614
22	その他イカ類	29,620	0.538
23	スズキ	24,960	0.453
24	ムツ	24,306	0.441
25	その他アジ類	22,054	0.400
26	タチウオ	21,835	0.396
27	カンパチ	19,318	0.351
28	ウルメイワシ	18,709	0.340
29	カワハギ	18,682	0.339
30	メジナ	18,156	0.329
31	マグロ類	18,031	0.327
32	ヒラメ	15,047	0.273
33	フグ類	10,719	0.195
34	ボラ	5,296	0.096
35	ヤリイカ	4,262	0.077
36	トビウオ	4,087	0.074
37	ウマヅラハギ	3,683	0.067
38	カジキ類	3,177	0.058
39	ハガツオ	2,272	0.041
40	ヨコワ	2,253	0.041
41	シマアジ	128	0.002
42	その他雑魚	227,585	4.130
	合計	5,510,053	100.000

漁獲尾数では片田の 24,759 尾が最高で、次いで九鬼 1 号の 20,769 尾、阿曾の 17,994 尾、錦の 16,753 尾であった。他に九鬼 2 号、早田、阿田和 2 号、梶賀で 1 万尾を越えた。ブリのまとまった入網は春季に集中してみられた。前年と同様 4 月の好漁が顕著で、4 月だけで全体の 44%、3 月～5 月では全体の 91% が漁獲された。例年に比べて 5 月上旬の漁獲が目立った。全漁場合計の 1 日の最高漁獲尾数は 5 月 5 日の 9,065 尾、次いで 4 月 23 日の 7,191 尾、5 月 6 日の 6,932 尾であった。1 漁場における 1 日の最高漁獲尾数は阿曾の 5,226 尾（2 月 27 日）、次いで片田の 3,992 尾（5 月 9 日）と 3,120 尾（5 月 5 日）、島勝の 2,710 尾（4 月 23 日）、九鬼 1 号の 2,334 尾（3 月 19 日）であった。

ワラサ（2～6 kg 未満）の全漁獲尾数は 95,898 尾（前年度比 99%）で、最近 10 年の平均をやや下回り、前年度並であった。ワラサの目立った入網は 3～5 月にみられ、全体の 84% の漁獲があった。漁場別の漁獲尾数では片田の 19,560 尾が最高で、次いで阿田和 2 号の 11,804 尾、方座の 10,172 尾であった。全漁場合計の 1 日の最高漁獲尾数は、4 月 4 日の 5,653 尾であった。次いで 5 月 9 日の 4,994 尾、3 月 7 日の 3,762 尾、3 月 3 日の 3,028 尾、5 月 7 日の 2,976 尾、5 月 6 日の 2,904 尾であった。1 漁場における 1 日の最高漁獲尾数は、阿田和 2 号の 4,983 尾（4 月 4 日）、次いで方座の 3,316 尾（3 月 7 日）、同じく方座の 2,744 尾（3 月 3 日）であった。

イナダ（0.5～2 kg）の全漁獲尾数は 59,114 尾（前年度比 91%）であったが、当歳魚が主体となる 8 月～9 月を入れない集計期間では 59,412 尾（前年度比 1.1 倍）であった。漁場別の漁獲尾数では片田の 20,403 尾が最高で、次いで島勝の 10,993 尾であった。1 漁場における 1 日の最高漁獲尾数は、片田の 9,691 尾（5 月 15 日）、次いで島勝の 4,574 尾（1 月 24 日）、片田の 3,800 尾（4 月 13 日）であった。平成 26(2014)年級群は、まとまった入網がほとんどなく、近年では平成 22(2010)年級群に次ぐ低調な漁獲量であった。

ブリ以外の魚種では、サバの 1,438 トン（前年度比 1.6 倍）が最も多く、昭和 43（1968）定置年度以降では平成 17（2005）定置年度の 1,394 トンを越えて過去最高の漁獲量であった。次いで漁獲量が多かったのはマアジの 409 トンであったが、近年では前年度と並んで低水準であった。シイラの 348 トンは過去最高を記録した前年度の 433 トンには及ばないものの、高水準の漁獲量であった。

また、サワラが 59.9 トンの漁獲量で、前年度の 76.3 トンには及ばないものの、昭和 46（1971）定置年度以降で第 2 位の漁獲量であった。

関連報文

三重県（2015）：平成 25 定置年度 三重県ブリ定置漁獲統計。